

2 4 循環器・呼吸器病センター 本館棟 3・5 階空調設備改修工事

図面番号	図面名称
M-	1 機械設備工事特記仕様書 (1)
	2 機械設備工事特記仕様書 (2)
	3 機械設備工事特記仕様書 (3)
	4 案内・配置図
	5 工事概要
	6 改修ファンコイルリスト(1)
	7 改修ファンコイルリスト(2)
	8 ファンコイル電動二方弁更新参考図
	9 空調配管系統図 竣工図
	10 3階 空調設備図
	11 5階 空調設備図
	12 3階 空調配管設備 竣工図 (1)
	13 3階 空調配管設備 竣工図 (2)
	14 5階 空調配管設備 竣工図 (1)
	15 5階 空調配管設備 竣工図 (2)
	16 3階 天井伏 竣工図 (1)
	17 3階 天井伏 竣工図 (2)
	18 5階 天井伏 竣工図 (1)
	19 5階 天井伏 竣工図 (2)

	本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部					

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部

機械設備工事特記仕様書

1	工事概要
2	工事名称 24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事
3	工事場所 熊谷庁舎1696
4	工期 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日
5	現場施工期間 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日

4	建物概要
1	建物名称 SRC
2	構造 B1F/5F
3	階面積 67,171.37
4	用途 庁舎第一
5	備考

5	工事種目 (●印を付いたものを適用する。)
建物別及び層別	
工事種目	① ② ③ ④ ⑤ 屋外
● 空調設備	一 式
○ 換気設備	
○ 排煙設備	
○ 自動制御設備	
○ 衛生器具設備	
○ 給水設備	
○ 排水設備	
○ 消火設備	
○ 照明設備	
○ ガス設備	

6	指定部分	※無	有	対象部分	工期	令和 年 月 日
---	------	----	---	------	----	----------

7	主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
1	専任期間の始期
2	専任期間の終期
3	専任期間の中断

8	工事範囲	図示のとおり
9	機械設備工事概要	既存ファンコイルユニットの電動二方弁及び接続管の更新工事を行う。

10	電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉建築工事特別共通仕様書による。
----	--

11	同時期発注の関連工事	・建築工事	・電気設備工事
----	------------	-------	---------

II 工事仕様

1	共通仕様
1	この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉環境機械設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官庁官庁庁舎情報部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (建築設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。))及び監督員の指示に従い施工する。
2	なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能標準を優先して適用する。
3	電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
4	法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2	特記仕様
1	(1) 書は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
2	(2) 特記事項のうち適用する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、●印のものは適用しない。○印と●印の付いた場合は、共に適用する。

1	機材等
2	電気保安技術者
3	施工条件
4	技術士の適用
5	機材の検査及び試験、施工の検査及び試験
6	監督員事務所
7	官公署その他への届出手続等
8	工事用電力・水等
9	工事用仮設物
10	足場・さんばし類
11	建設廃土の処理
12	埋戻し土・盛土
13	再生砂、再生砕石、再生アスコン使用
14	余材の処理等
15	空容等の表示
16	配管
17	耐震施工

●印の付いたものは、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注を記した検査書を監督員に提出すること。特別共通仕様書については、(1)～(4)各条の標準仕様書及び(1)～(4)各条の特記仕様書に該当する機材等は、その別記標準仕様書、標準仕様書による。また、(1)～(4)各条の特記仕様書に規定される機材等は、埼玉環境建設工事標準仕様書によるものとする。なお、※印は適用しない。

●印の付いたものは、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注を記した検査書を監督員に提出すること。特別共通仕様書については、(1)～(4)各条の標準仕様書及び(1)～(4)各条の特記仕様書に該当する機材等は、その別記標準仕様書、標準仕様書による。また、(1)～(4)各条の特記仕様書に規定される機材等は、埼玉環境建設工事標準仕様書によるものとする。なお、※印は適用しない。

●印の付いたものは、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注を記した検査書を監督員に提出すること。特別共通仕様書については、(1)～(4)各条の標準仕様書及び(1)～(4)各条の特記仕様書に該当する機材等は、その別記標準仕様書、標準仕様書による。また、(1)～(4)各条の特記仕様書に規定される機材等は、埼玉環境建設工事標準仕様書によるものとする。なお、※印は適用しない。

●印の付いたものは、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注を記した検査書を監督員に提出すること。特別共通仕様書については、(1)～(4)各条の標準仕様書及び(1)～(4)各条の特記仕様書に該当する機材等は、その別記標準仕様書、標準仕様書による。また、(1)～(4)各条の特記仕様書に規定される機材等は、埼玉環境建設工事標準仕様書によるものとする。なお、※印は適用しない。

●印の付いたものは、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注を記した検査書を監督員に提出すること。特別共通仕様書については、(1)～(4)各条の標準仕様書及び(1)～(4)各条の特記仕様書に該当する機材等は、その別記標準仕様書、標準仕様書による。また、(1)～(4)各条の特記仕様書に規定される機材等は、埼玉環境建設工事標準仕様書によるものとする。なお、※印は適用しない。

設計用水平地震	耐震安全性の分類		
設置場所	・特定の施設	・一般の施設	
重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
2.0	1.5	1.5	1.0
(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
(2.0)	(1.5)	(1.5)	1.0
1.5	1.0	1.0	0.6
(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
1.0	0.6	0.6	0.4
(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)

(注) () 内の数値は防振支持の種類に適用する。
> 内の数値は水櫃類に適用する。
※上層等とは2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は最上2階、10～17階の場合は最上3階、18階以上の場合は最上4階、中層とは2～6階、7～9階、10～17階に該当しないもの (中層の場合は無し) 中層とは2～6階、7～9階、10～17階に該当しないもの (中層の場合は無し) 特別共通仕様書は次のものを示す。

給水装置	排水装置	換気機器	空調機器	熱源機器
防火設備	監視制御設備	危険物貯蔵設備		
※使用する設備	避難経路上に設置する機器			

●印の付いたものは、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注を記した検査書を監督員に提出すること。特別共通仕様書については、(1)～(4)各条の標準仕様書及び(1)～(4)各条の特記仕様書に該当する機材等は、その別記標準仕様書、標準仕様書による。また、(1)～(4)各条の特記仕様書に規定される機材等は、埼玉環境建設工事標準仕様書によるものとする。なお、※印は適用しない。

11	防凍保温工事	
1	標準仕様書第2編によるほか下記による。	
2	空調設備改修工事の保温の種別	
区分	施工箇所	保温種別
ドレン管	屋外露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・(V)
	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・(V)
天井内、PS内及び空調室中	浴室、廊下等の多湿箇所	e2・(D)・(V)
	洗面、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	e3・(A)・(V)
換気管	屋外露出 (一般居室、廊下)	A1・(A)・(V)
	機械室、書庫、倉庫	B・(A)・(V)
天井内、PS内及び空調室中	浴室、廊下等の多湿箇所	C2・(D)・(V)
	洗面、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	D・(D)・(V)
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	天井内、PS内及び空調室中	C1・(A)・(V)
	洗面、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	D・(A)・(V)
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	天井内、PS内及び空調室中	C2・(D)・(V)
	洗面、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	D・(D)・(V)
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	天井内、PS内及び空調室中	C1・(A)・(V)
	洗面、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	D・(A)・(V)
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	天井内、PS内及び空調室中	C2・(D)・(V)
	洗面、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	D・(D)・(V)

(注) 1. 冷風管は、断熱材被覆管を使用し、外装は下記による。
屋外露出部 ※保温化被覆材 (※樹脂製) ・重巻メッキ鋼板等・G・S型
屋外露出部 ※浴槽アルミニウム塗装樹脂ラッキング・SUSラッキング
保温化被覆材 (※樹脂製) ・重巻メッキ鋼板等・G・S型
2. 施工種別の材料は既述通り、アルミラスタ樹脂製を使用する。
3. 機器類の保護材の種類は、(※ラスタール保護材) ・ロックウール保温材とする。

ダクトの保温の種別		
区分	施工箇所	保温種別
長方形ダクト	屋外露出 (一般居室、廊下)	J1・(A)・(V)
	屋外露出 (機械室、書庫、倉庫)	L1・(A)・(V)
屋内内、DS内	天井内、PS内及び空調室中	—
	浴室、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	K3・(A)・(V)
円形ダクト	屋外露出 (一般居室、廊下)	O1・(A)・(V)
	屋外露出 (機械室、書庫、倉庫)	N1・(A)・(V)
屋内内、DS内	天井内、PS内及び空調室中	—
	浴室、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	P3・(A)・(V)
消音内貼り	サブライチャージャー	M・(D)・(V)
	消音キャブナー・消音エルボ	L・(D)・(V)

給排水衛生設備工事の保温の種別		
区分	施工箇所	保温種別
給水管	屋外露出 (一般居室、廊下)	a1・(A)・(V)
	機械室、書庫、倉庫	b・(A)・(V)
天井内、PS内及び空調室中	浴室、廊下等の多湿箇所	e2・(D)・(V)
	洗面、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	e3・(A)・(V)
床下、暖室内 (ビッド内、共用廊下を含む。)	天井内、PS内及び空調室中	—
	浴室、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	—
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	天井内、PS内及び空調室中	C2・(D)・(V)
	洗面、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	—
排水及び通気管	屋外露出 (一般居室、廊下)	—
	機械室、書庫、倉庫	—
天井内、PS内及び空調室中	浴室、廊下等の多湿箇所	e2・(D)・(V)
	洗面、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	—
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	天井内、PS内及び空調室中	C2・(D)・(V)
	洗面、廊下等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	—

(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかき部には塗装を施す。
2. 排水管の管壁が耐火2層管、耐火V型の場合は、保温を要しない。
3. 施工種別の材料は既述通り、4に替え、アルミラスタ樹脂製を使用する。
4. 機器類の保護材の種類は、(※ラスタール) ・ロックウールとする。
5. 消音機外露出部保護材の種類は、e3・(A)・(V)とする。
6. 使用内露出はSUS管及び内露出はSUS管を要しない。
7. 空調設備を要する使用 (特別空調設備等) 以外の使用で保温はポリエチレン管を使用する場合は保温を要しない。
※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド数量値による区別。
原則として☆☆☆☆とする。
※屋外露出給水管 (呼び径20以下のみ) は、保温厚40mm防凍保温を行うこと。
※室内の屋外露出部 (給水管、消火管、給湯管、排湯管、弁類を含む。) は下記仕様により防凍保温を行う。
保温仕様は保温厚を40mmとする。
・保護材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。

19	防凍保温
1	下記の箇所メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ※機械室、書庫、倉庫 下記の金属配管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出 (見えかき部)
2	下記の箇所メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ※機械室、書庫、倉庫 下記の金属配管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出 (見えかき部)

●印の付いたものは、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注を記した検査書を監督員に提出すること。特別共通仕様書については、(1)～(4)各条の標準仕様書及び(1)～(4)各条の特記仕様書に該当する機材等は、その別記標準仕様書、標準仕様書による。また、(1)～(4)各条の特記仕様書に規定される機材等は、埼玉環境建設工事標準仕様書によるものとする。なお、※印は適用しない。

20	塗装
1	下記の箇所メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ※機械室、書庫、倉庫 下記の金属配管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出 (見えかき部)
2	下記の箇所メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ※機械室、書庫、倉庫 下記の金属配管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出 (見えかき部)

●印の付いたものは、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注を記した検査書を監督員に提出すること。特別共通仕様書については、(1)～(4)各条の標準仕様書及び(1)～(4)各条の特記仕様書に該当する機材等は、その別記標準仕様書、標準仕様書による。また、(1)～(4)各条の特記仕様書に規定される機材等は、埼玉環境建設工事標準仕様書によるものとする。なお、※印は適用しない。

23	管の埋設深さ
1	はつり及びあと 施工アンカー打設前、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が腐蝕、金属配管等に損傷した場合は、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
2	(1) 公道とは、道路管理者の指定する深さとする。 (2) 構内再通道路では、埋設管下面から管の上端まで600mmとする。 (3) その他の場所では、地表面 (舗装部分では舗装材上面) から管の上端まで300mmとする。

24	既設管分岐・接続
1	接続管と接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やれを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承認を受ける。
2	※コンクリートの建築物内に入りする箇所の付近の露出部配管 ※露出部及びこれに関する部分 ※露出部とステンレス管及びこれに接続する部分 ※5A以下は絶縁コンコシとし、それ以上は絶縁フランチン 全て絶縁フランチン

25	絶縁継手の設置
1	() 書名の署名は実印を捺し、その他は二重実印を捺す。
2	スリーブ、箱入れその他工事の取扱い、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。

26	天井仕上区分
1	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。
2	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。

27	配管取扱い
1	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。
2	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。

28	配管取扱い
1	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。
2	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。

29	配管取扱い
1	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。
2	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。

30	配管取扱い
1	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。
2	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。

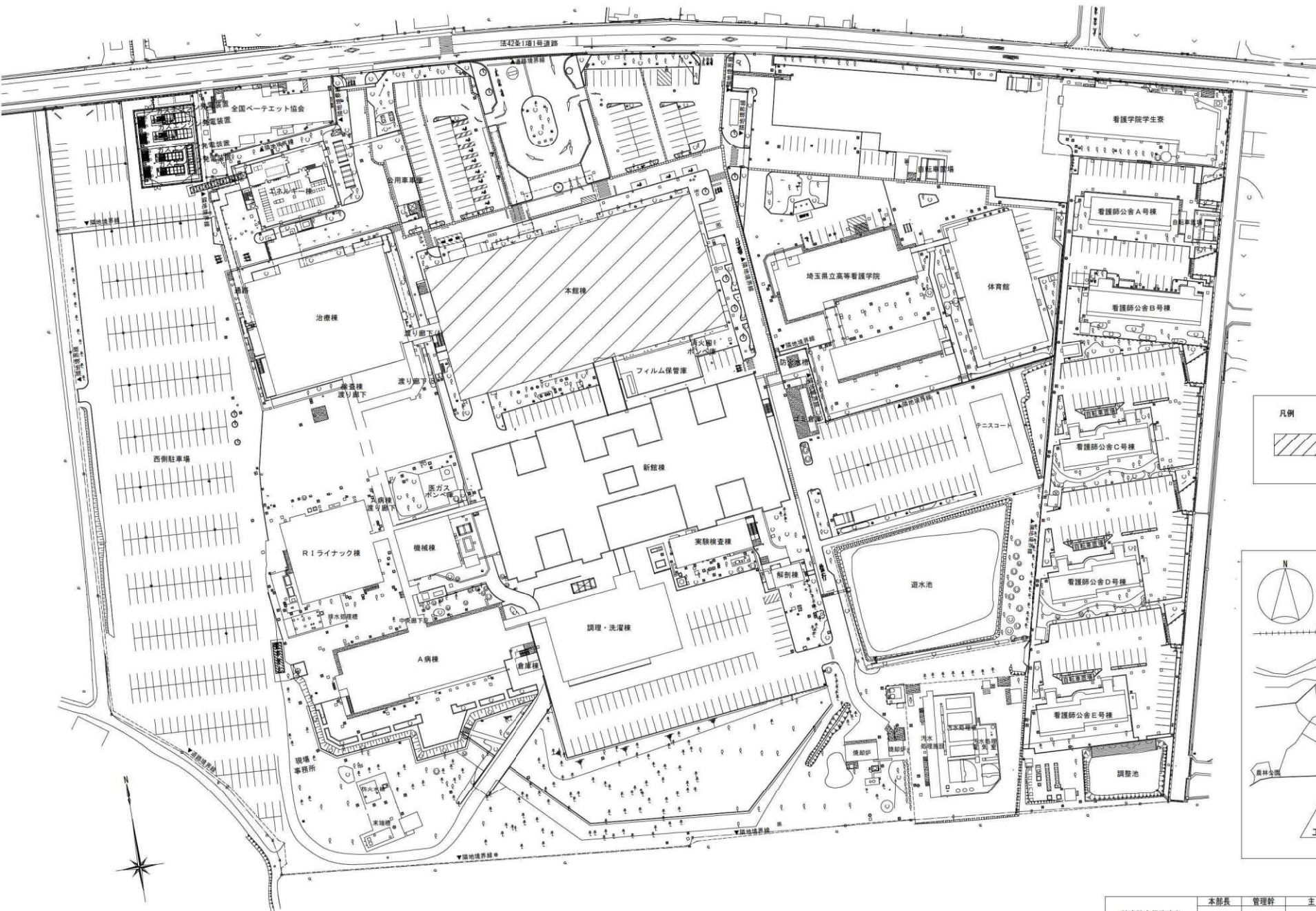
31	配管取扱い
1	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。
2	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。

32	配管取扱い
1	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。
2	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。

33	その他
1	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。
2	施工区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期なら、必要位置、大きさ等を明示し、監督員と打合せを要する。

設計年月日	R06.03.21	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本館棟3・5階空調設備改修工事	24	24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事	機械設備工事特記仕様書 (1)	M-01
-------	-----------	-----------------------------------	----	--------------------------------	-----------------	------

<p>(3) 特に騒音振動など周辺に大きな影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式遠隔監視機の撤去・再取付、新規設置については、F F式遠隔監視機の一時的取り外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者からの承認を受けた「F F設備維持管理士」の資格を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）の計画を基に、記録を管理すること。なお、動作確認は、一時取り外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。</p> <p>(1) 圧縮機駆動機の種類方式 ※回転数制御・オンオフ制御</p> <p>(2) 冷凍機 HFC (R 4 1 0 A, R 3 2又はR 4 0 7 C)</p> <p>(注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷凍配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。</p> <p>(注2) R 3 2を採用した場合、冷凍配管の新熱媒充填量は難燃性のものを使用すること。</p> <p>(注3) 増玉充填リプレメント凍結防止方式で構成する機器とする。</p>	<p>12 騒音装置</p> <p>女子用トイレブースに設置する。(※本工事・別途工事)</p> <p>男子用トイレブースに設置する。(※本工事・別途工事)</p> <p>パリアフリートイレブースに設置する。(※本工事・別途工事)</p> <p>衛生設備器具の適用等の必要とは別途衛生設備標準書による。</p>	<p>2 洗濯等の排水水</p> <p>洗濯等に直結する排水水は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 高水試験機手</p> <p>3階以上にわたる排水立管には、各階毎に次の手を入れる。</p> <p>※採れ口付きケック・高水試験用採れ口ケック</p> <p>4 雑用</p> <p>別紙様式による。</p>																																																														
<p>○ 設計温度</p> <table border="1" data-bbox="190 199 582 295"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">屋 内</th> </tr> <tr> <th>夏季 (DB)</th> <th>冬季 (RH)</th> <th>夏季 (DB)</th> <th>冬季 (RH)</th> <th>夏季 (DB)</th> <th>冬季 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>37.1℃</td> <td>47.1%</td> <td>28℃</td> <td>24℃</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.5℃</td> <td>49.4%</td> <td>20℃</td> <td>18℃</td> <td>50%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>	外 気		一 般 系 統		屋 内		夏季 (DB)	冬季 (RH)	夏季 (DB)	冬季 (RH)	夏季 (DB)	冬季 (RH)	夏季	37.1℃	47.1%	28℃	24℃	50%	冬季	0.5℃	49.4%	20℃	18℃	50%	<p>○ 換気設備</p> <p>1 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 表辺の長さ1500mm以下 ※共板工法・スライドオンフランジ工法・アングルフランジ工法</p> <p>それ以外の部分 ※アングルフランジ工法</p> <p>・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (A区分 ※B区分)</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>※スライラダクト (※亜鉛鉄板製・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・樹脂成形塩化ビニル管 ※フレキシブルダクト (・保冷付・保通)</p> <p>(注1) 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。</p> <p>送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。</p> <p>(2) 送管内貼したチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。</p> <p>・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750</p> <p>(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が溜まらないようにする。</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(1) 防雨ダンパー 機構方式 (※遮断) ・ 定格入力D C24V, 0.7A以下</p> <p>(2) ピストンダンパー 機構方式 (※遮断) ・</p> <p>6 多連箇所排水ダクト</p> <p>(1) 排水ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用樹脂二層管) を使用できる。</p> <p>※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・</p> <p>(2) 水垢発生量 (※浴室、浴室 ※結露水が溜まる部分) の排水ダクトは設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記ダクトの保温を行う。</p> <p>換気用機器の隠へりダクト</p> <p>仕様は、(口) ・Xとする。</p> <p>保温仕様範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。</p> <p>(注1) ※浴室・湯沸室)) 用の隠蔽へりダクト (仕様は、(イ) ・Xとし範囲は図示による)</p> <p>8 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・しない</p> <p>風量測定 ※する ・しない</p> <p>騒音の測定 ※する ※しない</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>配管材料は、※下記・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1" data-bbox="1142 207 1635 335"> <tr> <th>施 工 部 位</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))</td> <td>※SUS・SGP-PP</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンドアー内配管</td> <td>※SUS・SGP-PP・H1VP</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS・SGP-PP</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一部露出部)</td> <td>※H1VP・水道用ステンレス鋼管・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>配管材料 (一部露出部)</td> <td>※H1VP・水道用ポリエチレン管・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>高層住宅 住戸内</td> <td>※ポリブチン管 (きや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブチン管 (10mm保通付)</td> </tr> <tr> <td>便所壁面隠蔽又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブチン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS・SGP-PP・H1VP</td> </tr> <tr> <td>床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))</td> <td>※SUS・SGP-PP・H1VP</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンドアー内配管</td> <td>※SUS・SGP-PP・H1VP</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS・SGP-PP</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一部露出部)</td> <td>※H1VP・水道用ポリエチレン管・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブチン管 (10mm保通付)</td> </tr> <tr> <td>便所壁面隠蔽又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブチン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS・SGP-PP・H1VP</td> </tr> </table> <p>(注1) SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮) ・ダブり (・圧縮) 使用、標準仕様書に準拠して製造されるものとする。</p> <p>2. ステンレス管に取付ける弁は、JIS-Bに準拠する。</p> <p>3. 飲料水以外の給水用は、系統別に管外部に防錆塗布テープを巻く。また、接続部がないことを確認するための衛生器具の取付完了後、系統別に着色水を用いた通水試験を行う。</p> <p>4. 給水用配管に、ポリエチレン管と異種管を接続する場合は、接続部が容易に交換できるように接続部を設ける。</p> <p>5. 階ごとのAにて水圧調整等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。</p> <p>6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着して接続するものをいう。</p> <p>7. 地中埋設部 (水道接続部分) は水道事業者の指示による。</p>	施 工 部 位	管 種 別	床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))	※SUS・SGP-PP	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンドアー内配管	※SUS・SGP-PP・H1VP	保温をしない屋外露出部	※SUS・SGP-PP	地中埋設部 (一部露出部)	※H1VP・水道用ステンレス鋼管・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	配管材料 (一部露出部)	※H1VP・水道用ポリエチレン管・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	高層住宅 住戸内	※ポリブチン管 (きや管ヘッダー工法)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)	便所天井内	※ポリブチン管 (10mm保通付)	便所壁面隠蔽又は衛生器具等接続管	※ポリブチン管	その他の部分	※SUS・SGP-PP・H1VP	床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))	※SUS・SGP-PP・H1VP	湿潤シンドアー内配管	※SUS・SGP-PP・H1VP	保温をしない屋外露出部	※SUS・SGP-PP	地中埋設部 (一部露出部)	※H1VP・水道用ポリエチレン管・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)	便所天井内	※ポリブチン管 (10mm保通付)	便所壁面隠蔽又は衛生器具等接続管	※ポリブチン管	その他の部分	※SUS・SGP-PP・H1VP	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・露出部 M鋼管 その他 保護付被覆鋼管 (M鋼管)</p> <p>・一般配管用ステンレス鋼管</p> <p>・ポリブチン管 (きや管ヘッダー工法)</p> <p>2 絶縁フランチ</p> <p>取付部は下記による。</p> <p>※鋼管と管管及びここに接続する部分</p> <p>※鋼管とステンレス管管及びこれに接続する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。</p> <p>(2) ステンレス鋼管に取付ける弁は、JIS-Bによる。</p> <p>4 ガス給湯沸湯器</p> <p>※屋外設置の湯熱回収型・PS断熱型の湯熱回収型</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>
外 気		一 般 系 統		屋 内																																																													
夏季 (DB)	冬季 (RH)	夏季 (DB)	冬季 (RH)	夏季 (DB)	冬季 (RH)																																																												
夏季	37.1℃	47.1%	28℃	24℃	50%																																																												
冬季	0.5℃	49.4%	20℃	18℃	50%																																																												
施 工 部 位	管 種 別																																																																
床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))	※SUS・SGP-PP																																																																
ウエット厨房、浴室等の湿潤シンドアー内配管	※SUS・SGP-PP・H1VP																																																																
保温をしない屋外露出部	※SUS・SGP-PP																																																																
地中埋設部 (一部露出部)	※H1VP・水道用ステンレス鋼管・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																
配管材料 (一部露出部)	※H1VP・水道用ポリエチレン管・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																
高層住宅 住戸内	※ポリブチン管 (きや管ヘッダー工法)																																																																
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)																																																																
便所天井内	※ポリブチン管 (10mm保通付)																																																																
便所壁面隠蔽又は衛生器具等接続管	※ポリブチン管																																																																
その他の部分	※SUS・SGP-PP・H1VP																																																																
床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))	※SUS・SGP-PP・H1VP																																																																
湿潤シンドアー内配管	※SUS・SGP-PP・H1VP																																																																
保温をしない屋外露出部	※SUS・SGP-PP																																																																
地中埋設部 (一部露出部)	※H1VP・水道用ポリエチレン管・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)																																																																
便所天井内	※ポリブチン管 (10mm保通付)																																																																
便所壁面隠蔽又は衛生器具等接続管	※ポリブチン管																																																																
その他の部分	※SUS・SGP-PP・H1VP																																																																
<p>○ 給気設備</p> <p>3 種 運</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm・4.5mm)</p> <p>(2) ばい煙濃度計 ※設ける・設けない</p> <p>(3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80とする) ・設けない</p> <p>4 煙 突</p> <p>※別途・本工事</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 表辺の長さ1500mm以下 ※共板工法・スライドオンフランジ工法・アングルフランジ工法</p> <p>それ以外の部分 ※アングルフランジ工法</p> <p>・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (A区分 ※B区分)</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>※スライラダクト (※亜鉛鉄板製・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用樹脂二層管 (大径認定品) ※フレキシブルダクト (・保冷付・保通)</p> <p>(注1) 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。</p> <p>送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。</p> <p>(2) ダクト接続部の空気抵抗等に取付けけるサイリチャンパー、レタンチャンパー及びダクトで構成内貼したチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。</p> <p>・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750</p> <p>(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が溜まらないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※亜鉛鉄板製・グラスウール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防雨ダンパー 機構方式 (※遮断) ・ 定格入力D C24V, 0.7A以下</p> <p>(2) ピストンダンパー 機構方式 (※遮断) ・</p>	<p>○ 排煙設備</p> <p>1 ダクト</p> <p>※亜鉛鉄板製</p> <p>2 排煙口の形式</p> <p>※天井取付 (・スリット付 ※スリング付) ・壁取付 (・スリット付 ※スリング付)</p> <p>3 排煙口手動開放装置</p> <p>開放及び機構方式 ※ワイヤー式・電気式 (遠隔操作) ・不要))</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>建築設備定期検査基準書 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p>	<p>○ 排煙設備</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>給排水用栓を除き大きな呼び130の水栓は、取水コマとする。</p> <p>水栓を栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>3 水 栓</p> <p>※給排水用栓を除き大きな呼び130の水栓は、取水コマとする。</p> <p>水栓を栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※親・メーター (※貸与品) ・子・メーター (※買取り)</p> <p>5 量水器類</p> <p>※水道事業者指定品・標準図M C 8</p> <p>6 弁 類</p> <p>規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・防音コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水性</p> <p>図示部分について下記のとおりとする。</p> <p>※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。</p> <p>・標準図工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおりとする。</p> <p>※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。</p> <p>・標準図工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>9 検分方法</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>本管本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出口における舗装の復旧も含む。</p>	<p>○ 排煙設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・断熱ガス ガス事業者の供給規格による。建設規格はPE管を原則とする。</p> <p>・酸化石油ガス 一般配管 ※法定燃焼機器専用管・SGP (白) 地中埋設 ※PE管</p> <p>2 ガス 漏れ警報器</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 酸化石油ガスの供給機</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給機は付帯しない。</p>																																																														
<p>○ 自動制御</p> <p>1 中央監視制御装置</p> <p>・有り 無し</p> <p>2 構成・機能</p> <p>図示による</p> <p>3 電気計装用機器</p> <p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属電線とする。天井内隠へり電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>	<p>○ 自動制御</p> <p>1 小便器用排水ダクト</p> <p>JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>2 パリアフリー対応</p> <p>・小便器 ※全部ストル形 一部ストル形</p> <p>手すり (・本工事 ※別添工事)</p> <p>・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部)</p> <p>※サーモスタット式 ※モーター式</p> <p>※スライバ・フック 止水水栓付排水シャワーヘッド</p> <p>・鏡 ※600×800 (鏡食機) ・鏡箱 (・照明兼) ・照付付</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>配管材料は、※下記・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1" data-bbox="1142 526 1635 654"> <tr> <th>施 工 部 位</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))</td> <td>※R-F-VP又はリサイクルVP・VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDP5-1)又は耐火VP・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※R-F-VP又はリサイクルVP・VP</td> </tr> <tr> <td>排水用機器</td> <td>※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))</td> <td>※R-F-VP又はリサイクルVP・VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VP (FDP5-1)又は耐火VP・排水用分岐付付 付設機</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※R-F-VP又はリサイクルVP・VP</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※R-E-P-V (軽荷重の場合) ・R-F-VP又はリサイクルVP・VP</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>※耐火二層管VP (FDP5-1)又は耐火VP・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVP又はR-F-VP・VP</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注1) リサイクルVP、リサイクルVPはJIS K6741の規格をもつ塩ビライニング管。RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2巻 2. 1. 2. 6による。</p> <p>2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水用硬質塩化ビニル管の材料種別による。</p> <p>3. 原則として継排水配管、給排水の管種混合はY4.9で行う。</p>	施 工 部 位	管 種 別	床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))	※R-F-VP又はリサイクルVP・VP	厨房等の温排水	※SGP (白)	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDP5-1)又は耐火VP・SGP (白)	その他の部分	※R-F-VP又はリサイクルVP・VP	排水用機器	※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))	※R-F-VP又はリサイクルVP・VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDP5-1)又は耐火VP・排水用分岐付付 付設機	その他の部分	※R-F-VP又はリサイクルVP・VP	地中埋設部	※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	共通	※R-E-P-V (軽荷重の場合) ・R-F-VP又はリサイクルVP・VP	通気配管	※耐火二層管VP (FDP5-1)又は耐火VP・SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVP又はR-F-VP・VP		※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・露出部 M鋼管 その他 保護付被覆鋼管 (M鋼管)</p> <p>・一般配管用ステンレス鋼管</p> <p>・ポリブチン管 (きや管ヘッダー工法)</p> <p>2 絶縁フランチ</p> <p>取付部は下記による。</p> <p>※鋼管と管管及びここに接続する部分</p> <p>※鋼管とステンレス管管及びこれに接続する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。</p> <p>(2) ステンレス鋼管に取付ける弁は、JIS-Bによる。</p> <p>4 ガス給湯沸湯器</p> <p>※屋外設置の湯熱回収型・PS断熱型の湯熱回収型</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>																																		
施 工 部 位	管 種 別																																																																
床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))	※R-F-VP又はリサイクルVP・VP																																																																
厨房等の温排水	※SGP (白)																																																																
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDP5-1)又は耐火VP・SGP (白)																																																																
その他の部分	※R-F-VP又はリサイクルVP・VP																																																																
排水用機器	※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																
床下、階内 (ビツト内、共同室を含む))	※R-F-VP又はリサイクルVP・VP																																																																
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDP5-1)又は耐火VP・排水用分岐付付 付設機																																																																
その他の部分	※R-F-VP又はリサイクルVP・VP																																																																
地中埋設部	※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																
共通	※R-E-P-V (軽荷重の場合) ・R-F-VP又はリサイクルVP・VP																																																																
通気配管	※耐火二層管VP (FDP5-1)又は耐火VP・SGP (白)																																																																
その他の部分	※リサイクルVP又はR-F-VP・VP																																																																
	※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																
<p>○ 衛生器具設備</p> <p>1 小便器用排水ダクト</p> <p>JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>2 パリアフリー対応</p> <p>・小便器 ※全部ストル形 一部ストル形</p> <p>手すり (・本工事 ※別添工事)</p> <p>・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部)</p> <p>※サーモスタット式 ※モーター式</p> <p>※スライバ・フック 止水水栓付排水シャワーヘッド</p> <p>・鏡 ※600×800 (鏡食機) ・鏡箱 (・照明兼) ・照付付</p>	<p>○ 衛生器具設備</p> <p>3 衛生器具付排水水栓</p> <p>(1) 器具付排水水栓は、※ドライバー式・ハンドル式</p> <p>(2) 水栓を栓を使用する場合は、水栓は固定コマとする。</p> <p>4 自動水栓機の電源</p> <p>※A C 1 0 0 V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>5 暖房機</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) ※自己発電</p> <p>(2) 機種別 ※温水洗浄 ※給湯機 ・温水乾燥 ・トイレ室内暖房</p> <p>(3) 温水洗浄加熱方式 ※湯断式・貯湯式</p> <p>(4) 使用液体は、飲料用温水とする。</p> <p>(5) リモコン ※A C 1 0 0 V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>6 大便器洗浄・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※器具1型・器具2型とする。</p> <p>・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層管に使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動性を確認し、必要に応じて低形とする。</p> <p>7 大便器耐火カバー</p> <p>※設ける (ビツト内は除く) ・設けない</p> <p>8 掃除機</p> <p>※共用となる。 ・共用付とする。</p> <p>9 排水器具用J 2継手</p> <p>※使用できる ・使用できない</p> <p>10 楕 形 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用雨水等の利用をい場合は、その旨をわかりやすくトイレ表に表示する。</p> <p>11 水せつけん入れ</p> <p>せつけん供給機等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。</p>	<p>○ 衛生器具設備</p> <p>3 衛生器具付排水水栓</p> <p>(1) 器具付排水水栓は、※ドライバー式・ハンドル式</p> <p>(2) 水栓を栓を使用する場合は、水栓は固定コマとする。</p> <p>4 自動水栓機の電源</p> <p>※A C 1 0 0 V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>5 暖房機</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) ※自己発電</p> <p>(2) 機種別 ※温水洗浄 ※給湯機 ・温水乾燥 ・トイレ室内暖房</p> <p>(3) 温水洗浄加熱方式 ※湯断式・貯湯式</p> <p>(4) 使用液体は、飲料用温水とする。</p> <p>(5) リモコン ※A C 1 0 0 V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>6 大便器洗浄・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※器具1型・器具2型とする。</p> <p>・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層管に使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動性を確認し、必要に応じて低形とする。</p> <p>7 大便器耐火カバー</p> <p>※設ける (ビツト内は除く) ・設けない</p> <p>8 掃除機</p> <p>※共用となる。 ・共用付とする。</p> <p>9 排水器具用J 2継手</p> <p>※使用できる ・使用できない</p> <p>10 楕 形 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用雨水等の利用をい場合は、その旨をわかりやすくトイレ表に表示する。</p> <p>11 水せつけん入れ</p> <p>せつけん供給機等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・露出部 M鋼管 その他 保護付被覆鋼管 (M鋼管)</p> <p>・一般配管用ステンレス鋼管</p> <p>・ポリブチン管 (きや管ヘッダー工法)</p> <p>2 絶縁フランチ</p> <p>取付部は下記による。</p> <p>※鋼管と管管及びここに接続する部分</p> <p>※鋼管とステンレス管管及びこれに接続する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。</p> <p>(2) ステンレス鋼管に取付ける弁は、JIS-Bによる。</p> <p>4 ガス給湯沸湯器</p> <p>※屋外設置の湯熱回収型・PS断熱型の湯熱回収型</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>																																																														
<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ※SUSフレキチューブ 耐熱塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>(3) プラント管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(4) 冷却管 ※新熱媒被覆鋼管</p> <p>(保通厚mm ガス管 ※10以上・10以下 液管・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>(ドレン管 (屋内) ※保通厚mm 配管用ドレン管 (300AD) 1/4 (7 相当品) ・耐火二層管VP (FDP5-1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>圧縮機保護用配管に空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) ScH40 ・ステンレス鋼管</p> <p>(8) 断熱管、空気抜き管及び膨脹タンクよりポリマー等への給排水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。また、鋼管用伸縮継手の種類は図示による。</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ※SUSフレキチューブ 耐熱塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>(3) プラント管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(4) 冷却管 ※新熱媒被覆鋼管</p> <p>(保通厚mm ガス管 ※10以上・10以下 液管・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>(ドレン管 (屋内) ※保通厚mm 配管用ドレン管 (300AD) 1/4 (7 相当品) ・耐火二層管VP (FDP5-1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>圧縮機保護用配管に空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) ScH40 ・ステンレス鋼管</p> <p>(8) 断熱管、空気抜き管及び膨脹タンクよりポリマー等への給排水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。また、鋼管用伸縮継手の種類は図示による。</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ※SUSフレキチューブ 耐熱塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>(3) プラント管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(4) 冷却管 ※新熱媒被覆鋼管</p> <p>(保通厚mm ガス管 ※10以上・10以下 液管・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>(ドレン管 (屋内) ※保通厚mm 配管用ドレン管 (300AD) 1/4 (7 相当品) ・耐火二層管VP (FDP5-1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>圧縮機保護用配管に空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) ScH40 ・ステンレス鋼管</p> <p>(8) 断熱管、空気抜き管及び膨脹タンクよりポリマー等への給排水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。また、鋼管用伸縮継手の種類は図示による。</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ※SUSフレキチューブ 耐熱塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>(3) プラント管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(4) 冷却管 ※新熱媒被覆鋼管</p> <p>(保通厚mm ガス管 ※10以上・10以下 液管・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>(ドレン管 (屋内) ※保通厚mm 配管用ドレン管 (300AD) 1/4 (7 相当品) ・耐火二層管VP (FDP5-1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>圧縮機保護用配管に空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) ScH40 ・ステンレス鋼管</p> <p>(8) 断熱管、空気抜き管及び膨脹タンクよりポリマー等への給排水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。また、鋼管用伸縮継手の種類は図示による。</p>																																																														
<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ※SUSフレキチューブ 耐熱塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>(3) プラント管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(4) 冷却管 ※新熱媒被覆鋼管</p> <p>(保通厚mm ガス管 ※10以上・10以下 液管・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>(ドレン管 (屋内) ※保通厚mm 配管用ドレン管 (300AD) 1/4 (7 相当品) ・耐火二層管VP (FDP5-1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>圧縮機保護用配管に空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) ScH40 ・ステンレス鋼管</p> <p>(8) 断熱管、空気抜き管及び膨脹タンクよりポリマー等への給排水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。また、鋼管用伸縮継手の種類は図示による。</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ※SUSフレキチューブ 耐熱塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>(3) プラント管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(4) 冷却管 ※新熱媒被覆鋼管</p> <p>(保通厚mm ガス管 ※10以上・10以下 液管・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>(ドレン管 (屋内) ※保通厚mm 配管用ドレン管 (300AD) 1/4 (7 相当品) ・耐火二層管VP (FDP5-1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>圧縮機保護用配管に空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) ScH40 ・ステンレス鋼管</p> <p>(8) 断熱管、空気抜き管及び膨脹タンクよりポリマー等への給排水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。また、鋼管用伸縮継手の種類は図示による。</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ※SUSフレキチューブ 耐熱塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>(3) プラント管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(4) 冷却管 ※新熱媒被覆鋼管</p> <p>(保通厚mm ガス管 ※10以上・10以下 液管・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>(ドレン管 (屋内) ※保通厚mm 配管用ドレン管 (300AD) 1/4 (7 相当品) ・耐火二層管VP (FDP5-1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>圧縮機保護用配管に空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) ScH40 ・ステンレス鋼管</p> <p>(8) 断熱管、空気抜き管及び膨脹タンクよりポリマー等への給排水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。また、鋼管用伸縮継手の種類は図示による。</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ※SUSフレキチューブ 耐熱塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>(3) プラント管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(4) 冷却管 ※新熱媒被覆鋼管</p> <p>(保通厚mm ガス管 ※10以上・10以下 液管・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>(ドレン管 (屋内) ※保通厚mm 配管用ドレン管 (300AD) 1/4 (7 相当品) ・耐火二層管VP (FDP5-1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>圧縮機保護用配管に空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) ScH40 ・ステンレス鋼管</p> <p>(8) 断熱管、空気抜き管及び膨脹タンクよりポリマー等への給排水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。また、鋼管用伸縮継手の種類は図示による。</p>																																																														
<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ※SUSフレキチューブ 耐熱塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>(3) プラント管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(4) 冷却管 ※新熱媒被覆鋼管</p> <p>(保通厚mm ガス管 ※10以上・10以下 液管・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>(ドレン管 (屋内) ※保通厚mm 配管用ドレン管 (300AD) 1/4 (7 相当品) ・耐火二層管VP (FDP5-1) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP</p> <p>圧縮機保護用配管に空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒)</p> <p>送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) ScH40 ・ステンレス鋼管</p> <p>(8) 断熱管、空気抜き管及び膨脹タンクよりポリマー等への給排水管 ※配管用炭素鋼管 (白)</p> <p>規格は JIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。また、鋼管用伸縮継手の種類は図示による。</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1</p>																																																																



案内図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日	変更年月日	照査 設計 製図 栗木 栗木 佐藤 大谷	有限 クラフト設備設計 会社 建築設計士 第5101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市栗原町3番地 TEL 048-521-6300 熊谷 千 370-0882 熊谷市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事 図面名 案内・配置図	図面番号 設計図 M - 04 縮尺 A 1 1 : 600 A 3 1 : 1200
	R06年03月21日				地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	

工事概要

- 1 本館棟のファンコイルの電動二方弁の更新を居ながら工事で行う。
- 2 工事は、平日の昼間作業とするが、1,2階は外来者が平日出入りするため、土休日・閉院日等に作業を行う。
- 3 作業範囲は、プラコーン等で囲い、警備員(軽作業員)を常駐させ作業を行う。利用者、職員等の通行に支障がでる場合は、一時的に工事を中断し、プラコーン等を移動させ、安全に通行ができる様に、警備員等が誘導する。
- 4 作業範囲は、床養生を行い、その日の工事完了後、撤去・清掃を行うこと
- 5 天井内作業であり、上下作業にならない様に安全に注意すること。
- 6 原則として、床養生の上に脚立足場を設置し、ここより安全に作業を行うこと
- 7 いずれの作業も、作業範囲の備品の移動、患者の移動等病院に協力を要請する

施 工

(準備工事)

- 1 最寄りの天井点検口より、改修工事場所を確認し、新設する天井点検口の位置を決める
- 2 床養生、脚立足場用意、警備員配置
- 3 各ファンコイルに作業用の天井点検口(600口)2箇所程度新設する
- 4 仮設材の撤去、清掃を行う

(改修工事)

- 1 床養生、脚立足場用意、警備員配置
- 2 ファンコイルの既存ボール弁を閉とし、保温材、電動弁(離線とも)及び往・還のフレキチューブを取り外すこの状態で、ボール弁を徐々に開にしていき、冷温水管が閉塞していないことの確認を行う天井内への漏水を避けるため、水受けのパン、バケツ等を用意しておく
- 3 閉塞していないことが確認できたら、電動弁及びフレキチューブの交換、電動弁の配線接続を行う
- 4 ボール弁を開とし、漏水の無い事を確認し、ファンコイルのエア抜き弁よりエア抜きを確実に行う
- 5 保温改修工事を行い結露の無いように施工する。ファンコイルより結露水が、配管と保温材のすき間に流れ込む場合があるので、その場合(冷温水管がファンコイルより下がっている場合等)はファンコイル接続部に、結露水よけセパレーターを取り付け、結露水が配管に伝わらないようにする
- 6 保温改修時に、既存の冷暖切替温度センサーが冷温水管(入口)に、密着されていることを確認する
- 7 ファンコイルを運転し、電動弁の動作確認を行う
- 8 仮設材の撤去、清掃を行う
- 9 冷暖房シーズン前に、各ファンコイルの吹出口、吸込口温度を測定し、正常運転を確認する

(分岐冷温水管の閉塞が確認された場合)

冷温水管(分岐管)の閉塞が確認された場合は、作業を中断し、分岐管の更新を行う
その場合、費用及び工期について監督員と協議を行う

- 1 冷温水管分岐箇所天井点検口を新設する
- 2 冷温水主管の分岐部両端を凍結工法で氷らせ、分岐用ボールバルブを新設し、既存分岐冷温水管を撤去する。これらは数カ所まとめた作業とする
- 3 新設する分岐ボールバルブより、保温付き架橋ポリエチレン管等で、分岐配管を更新する
- 4 分岐部分の結露が生じないよう、保温改修を行う
- 5 以降、上記作業同様とし、この場合はファンコイル用ボールバルブも更新とする

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

概要	設計年月日	変更年月日	照 査	設 計	製 図	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第5101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市栗木 3番地 TEL 048-521-6300 浦崎 〒370-0882 栗崎市井岡町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	2.4循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事	設計図	図面番号
	R06年03月21日		栗木	栗木	佐藤		大谷	図面名	工事概要	縮尺 A 1 1 : NON A 3 1 : NON

改修ファンコイルリスト(1)

図面記号	名 称	仕 様	電 力			台 数						備 考	
			相	電圧 (V)	出力 (kW)	1階 2管式	4管式	2階 2管式	4管式	3階 2管式	4階 2管式		5階 2管式
FCU-2	天吊カセット型	冷房能力 全熱 1.62 kW 顕熱 1.24 kW 暖房能力 1.62 kW 標準風量 360 m3/h 標準冷温水量 4.0 L/min	1	100	0.039						2	2	本体は既存のまま
FCU-3	天吊カセット型	冷房能力 全熱 2.29 kW 顕熱 1.80 kW 暖房能力 2.44 kW 標準風量 510 m3/h 標準冷温水量 6.0 L/min	1	100	0.059				2			2	本体は既存のまま
FCU-4	天吊カセット型	冷房能力 全熱 3.20 kW 顕熱 2.56 kW 暖房能力 3.22 kW 標準風量 660 m3/h 標準冷温水量 8.0 L/min	1	100	0.070						11	11	本体は既存のまま
FCU-6	天吊カセット型	冷房能力 全熱 4.53 kW 顕熱 3.72 kW 暖房能力 4.81 kW 標準風量 970 m3/h 標準冷温水量 11.0 L/min	1	100	0.071						2	2	本体は既存のまま
FCU-8	天吊カセット型	冷房能力 全熱 5.88 kW 顕熱 4.81 kW 暖房能力 5.86 kW 標準風量 1,310 m3/h 標準冷温水量 12.0 L/min	1	100	0.121						2	2	本体は既存のまま
FCU-12	天吊カセット型	冷房能力 全熱 10.11 kW 顕熱 7.32 kW 暖房能力 8.95 kW 標準風量 1,700 m3/h 標準冷温水量 30.0 L/min	1	100	0.125						2	2	本体は既存のまま
FCU-2	天吊カセット型	冷房能力 全熱 1.54 kW 顕熱 1.23 kW 暖房能力 1.65 kW 標準風量 360 m3/h 標準冷温水量 6.0 L/min	1	100	0.039								
FCU-3	天吊カセット型	冷房能力 全熱 2.34 kW 顕熱 1.84 kW 暖房能力 2.36 kW 標準風量 510 m3/h 標準冷温水量 12.0 L/min	1	100	0.059								本体は既存のまま
FCU-4	天吊カセット型	冷房能力 全熱 3.05 kW 顕熱 2.51 kW 暖房能力 3.08 kW 標準風量 660 m3/h 標準冷温水量 12.0 L/min	1	100	0.070								本体は既存のまま
FCU-6	天吊カセット型	冷房能力 全熱 4.16 kW 顕熱 3.59 kW 暖房能力 4.02 kW 標準風量 970 m3/h 標準冷温水量 13.0 L/min	1	100	0.071								本体は既存のまま
FCU-8	天吊カセット型	冷房能力 全熱 5.96 kW 顕熱 5.06 kW 暖房能力 5.46 kW 標準風量 1,310 m3/h 標準冷温水量 15.0 L/min	1	100	0.121								本体は既存のまま
FCF-2	天吊カセット型	冷房能力 全熱 1.52 kW 顕熱 1.19 kW 暖房能力 1.56 kW 標準風量 320 m3/h 標準冷温水量 7.0 L/min	1	100	0.041				8			8	本体は既存のまま
FCF-3	天吊カセット型	冷房能力 全熱 2.43 kW 顕熱 1.80 kW 暖房能力 2.44 kW 標準風量 405 m3/h 標準冷温水量 8.0 L/min	1	100	0.055				11		8	19	本体は既存のまま
FCF-4	天吊カセット型	冷房能力 全熱 3.31 kW 顕熱 2.58 kW 暖房能力 3.15 kW 標準風量 630 m3/h 標準冷温水量 9.0 L/min	1	100	0.077				13		5	18	本体は既存のまま
					計				34		32	66	

設計条件 入口空気温度 冷温水入口温度 出口温度 コイル列数
 夏季 26°C DB RH50% 2管式 夏季 7°C 冬季 45°C 14°C 3列
 冬季 22°C DB RH50% 4管式 夏季 7°C 冬季 55°C 37°C 冷水 2列 温水 4列
 注記 FCU: ロングライフフィルター付
 FCF: 比色法65% 中性能フィルター付
 型番口無し:1コイル型 2管式 型番口在り:2コイル型 4管式

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

概要	設計年月日 R06年03月21日	変更年月日	照 査 栗 木	設 計 栗 木	製 図 佐 藤	大 谷	有 限 公 司 クラフト設備設計 建築設備士 第6101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 真 本社 〒360-0824 熊谷市栗木 3番地 TEL 048-521-6300 浦崎 〒370-0882 栗崎 市 井 岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事 図面名 改修ファンコイルリスト(1)	設計図 M - 06 縮尺 A 1 : 1 : NON A 3 : 1 : NON	図面番号
----	---------------------	-------	------------	------------	------------	-----	--	--	--	------

改修ファンコイルリスト(2)

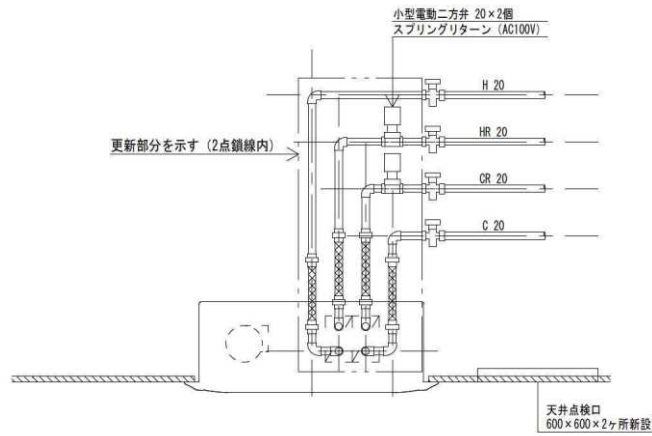
図面記号	名 称	仕 様	電 力			台 数						備 考
			相	電圧(V)	出力(kW)	1階	2階	3階	4階	5階	合計	
			2管式	4管式	2管式	4管式	2管式	2管式	2管式			
FCF-6	天吊カセット型	冷房能力 全熱 4.67 kW 顕熱 3.59 kW	1	100	0.078			16		3	19	本体は既存のまま
		暖房能力 4.68 kW										
		標準風量 850 m3/h 標準冷温水量 13.0 L/min										
FCF-8	天吊カセット型	冷房能力 全熱 5.84 kW 顕熱 4.69 kW	1	100	0.135			2		2		本体は既存のまま
		暖房能力 5.46 kW										
		標準風量 1,150 m3/h 標準冷温水量 14.0 L/min										
FCF-2	天吊カセット型	冷房能力 全熱 1.83 kW 顕熱 1.29 kW	1	100	0.041							
		暖房能力 1.67 kW										
		標準風量 320 m3/h 標準冷温水量 6.0 L/min										
FCF-3	天吊カセット型	冷房能力 全熱 2.15 kW 顕熱 1.67 kW	1	100	0.055							本体は既存のまま
		暖房能力 2.12 kW										
		標準風量 405 m3/h 標準冷温水量 13.0 L/min										
FCF-6	天吊カセット型	冷房能力 全熱 3.74 kW 顕熱 3.23 kW	1	100	0.078							本体は既存のまま
		暖房能力 3.66 kW										
		標準風量 850 m3/h 標準冷温水量 13.0 L/min										
FCF-8	天吊カセット型	冷房能力 全熱 5.81 kW 顕熱 4.47 kW	1	100	0.135							本体は既存のまま
		暖房能力 5.00 kW										
		標準風量 1,150 m3/h 標準冷温水量 15.0 L/min										
FCU-C1-2	天井埋込ダクト型 (高静圧タイプ)	冷房能力 全熱 1.52 kW 顕熱 1.22 kW	1	100	0.041							
		暖房能力 1.38 kW										
		標準風量 380 m3/h 標準冷温水量 4.0 L/min										
FCU-C1-6	天井埋込ダクト型 (高静圧タイプ)	冷房能力 全熱 4.32 kW 顕熱 3.63 kW	1	100	0.122							本体は既存のまま
		暖房能力 4.87 kW										
		標準風量 1,100 m3/h 標準冷温水量 9.0 L/min										
FCU-C1-2	天井埋込ダクト型 (高静圧タイプ)	冷房能力 全熱 1.47 kW 顕熱 1.22 kW	1	100	0.041							本体は既存のまま
		暖房能力 1.59 kW										
		標準風量 380 m3/h 標準冷温水量 5.0 L/min										
FCU-C1-3	天井埋込ダクト型 (高静圧タイプ)	冷房能力 全熱 2.30 kW 顕熱 1.84 kW	1	100	0.064							
		暖房能力 2.57 kW										
		標準風量 480 m3/h 標準冷温水量 7.0 L/min										
								18	3	21		
								52	35	87		

設計条件 入口空気温度 冷温水入口温度 出口温度 コイル列数
 夏季 26℃ DB RH50% 2管式 夏季 7℃ 冬季 45℃ 14℃ 3列
 冬季 22℃ DB RH50% 4管式 夏季 7℃ 冬季 55℃ 37℃ 冷水 2列 温水 4列

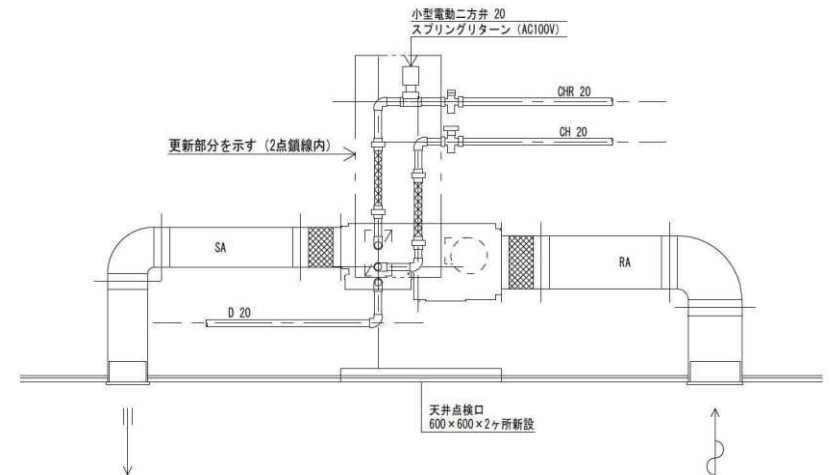
注記 FOU:ロングライフフィルター付
 FCF:比色法65% 中性能フィルター付
 型番口無し:1コイル型 2管式 型番口在リ:2コイル型 4管式

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

概要	設計年月日 R06年03月21日	変更年月日	照 査 栗 木	設 計 栗 木	製 図 佐 藤 大 谷	有 限 公 司 クラフト設備設計 建築設備士 第6101-2661M 号一般建築士 第337527号 栗木 真 本 社 〒 060-0824 旭 谷 市 栗 木 町 3 番 地 TEL 048-521-6300 浦 崎 千 370-0882 栗 崎 市 井 岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事 改修ファンコイルリスト(2)	図面番号 設計図 M - 07 縮尺A1 1:NON A3 1:NON
----	---------------------	-------	------------	------------	----------------	---	---	---



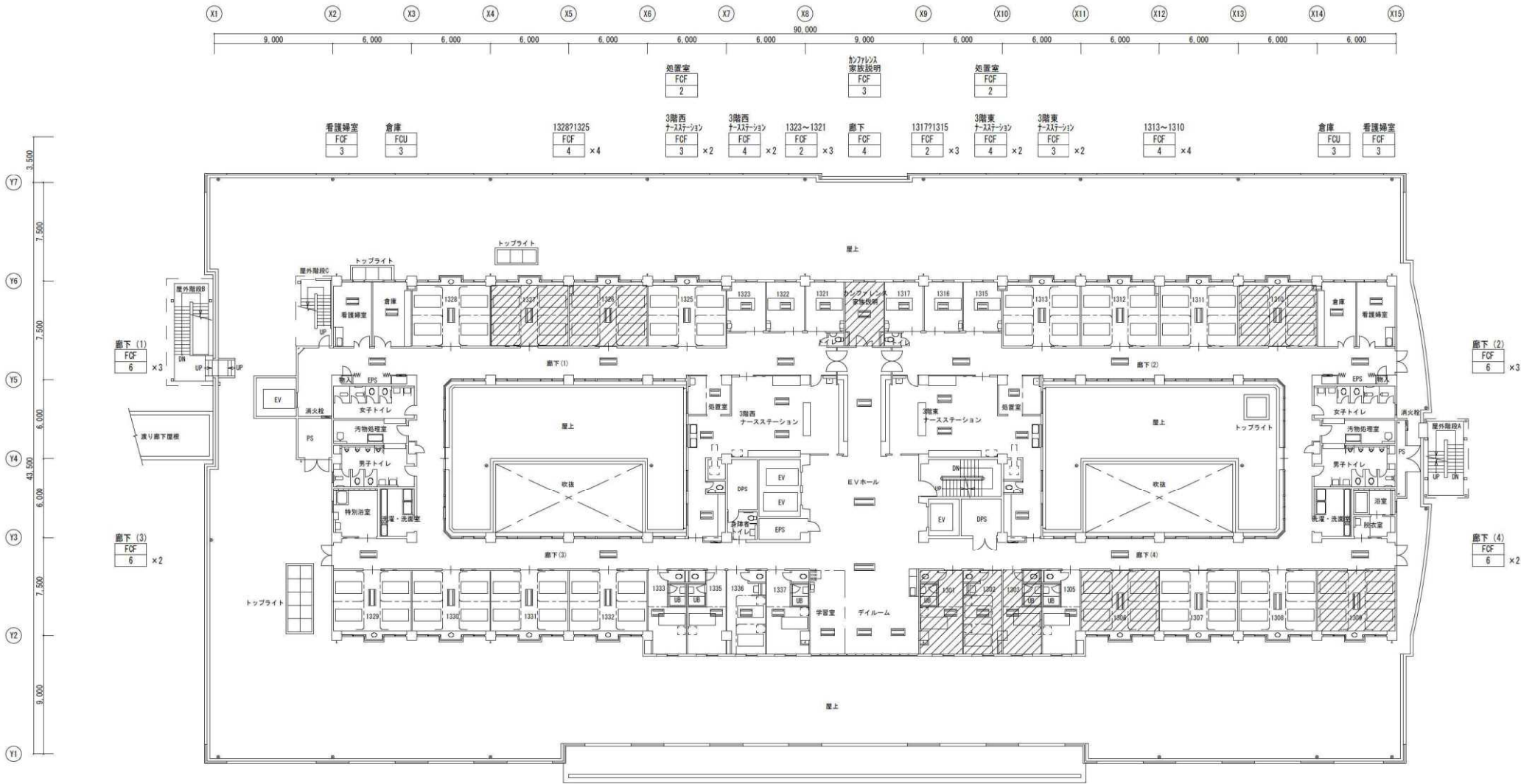
天井カセット型ファンコイルユニット4管式廻り参考図



天井隠蔽型ファンコイルユニット2管式廻り参考図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

概要	設計年月日	変更年月日	照 査	設 計	製 図	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第5101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 真 本社 〒060-0824 仙台市東区 3番地 TEL 048-521-6300 蒲田 〒370-0882 茨城県 蒲田町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事	設計図	図面番号
	R06年03月21日		栗木	栗木	佐藤		大谷	図面名	ファンコイル電動二方弁更新参考図	縮尺



1329~1332 FCF 6 ×4

1333, 1335 FCF 3 ×2

1336, 1337 FCF 3 ×2

EVホール FCF 8 ×2

1301, 1302 FCF 3 ×2

1303, 1305 FCF 3 ×2

1306~1309 FCF 6 ×4

学習室 FCF 4

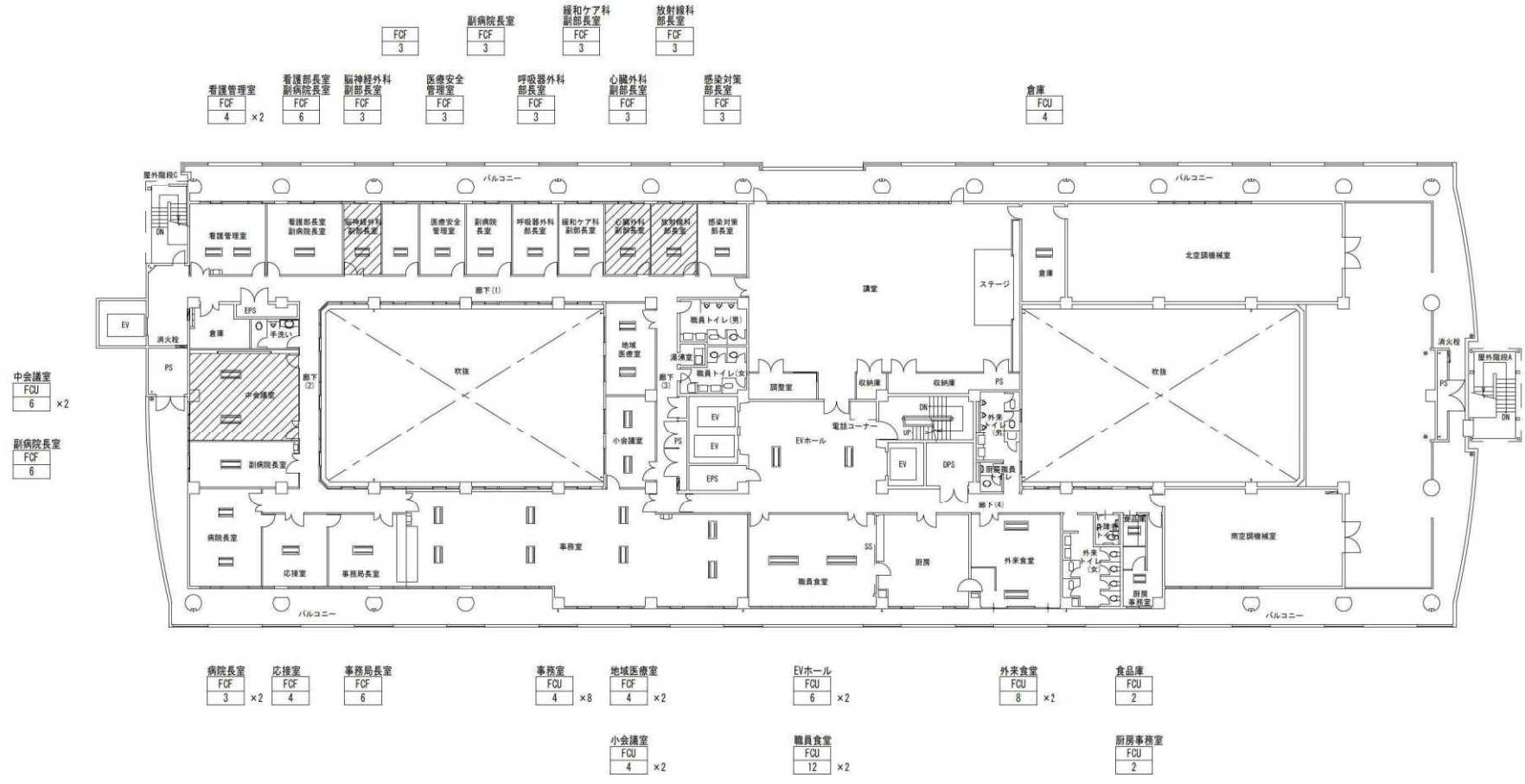
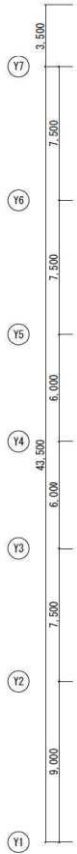
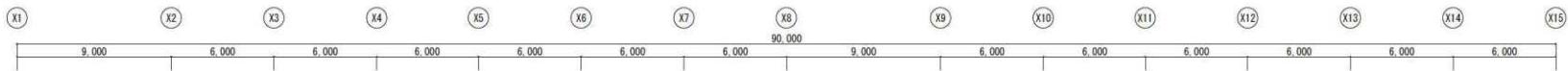
ディールーム FCF 4 ×2

- 凡例
- : 天井埋込カセット型を示す
 - : 天井隠蔽型を示す
 - : ハッチ部は改修対象外

本館棟 3階 平面図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本館	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日 R06年03月21日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有藤 クラフト設備設計 建築設備士 第6101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 真 本社 〒960-0824 仙台市青葉区 3番地 TEL 048-521-6300 蒲崎 〒310-0862 茨城県 鹿嶋市 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 2 4 循環器・呼吸器病センター 本館棟 3・5階空調設備改修工事 3階 空調設備図	図面番号 設計図 縮尺 A 1 : 150 A 3 : 300	図面番号 M - 10
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	---	--	--	----------------



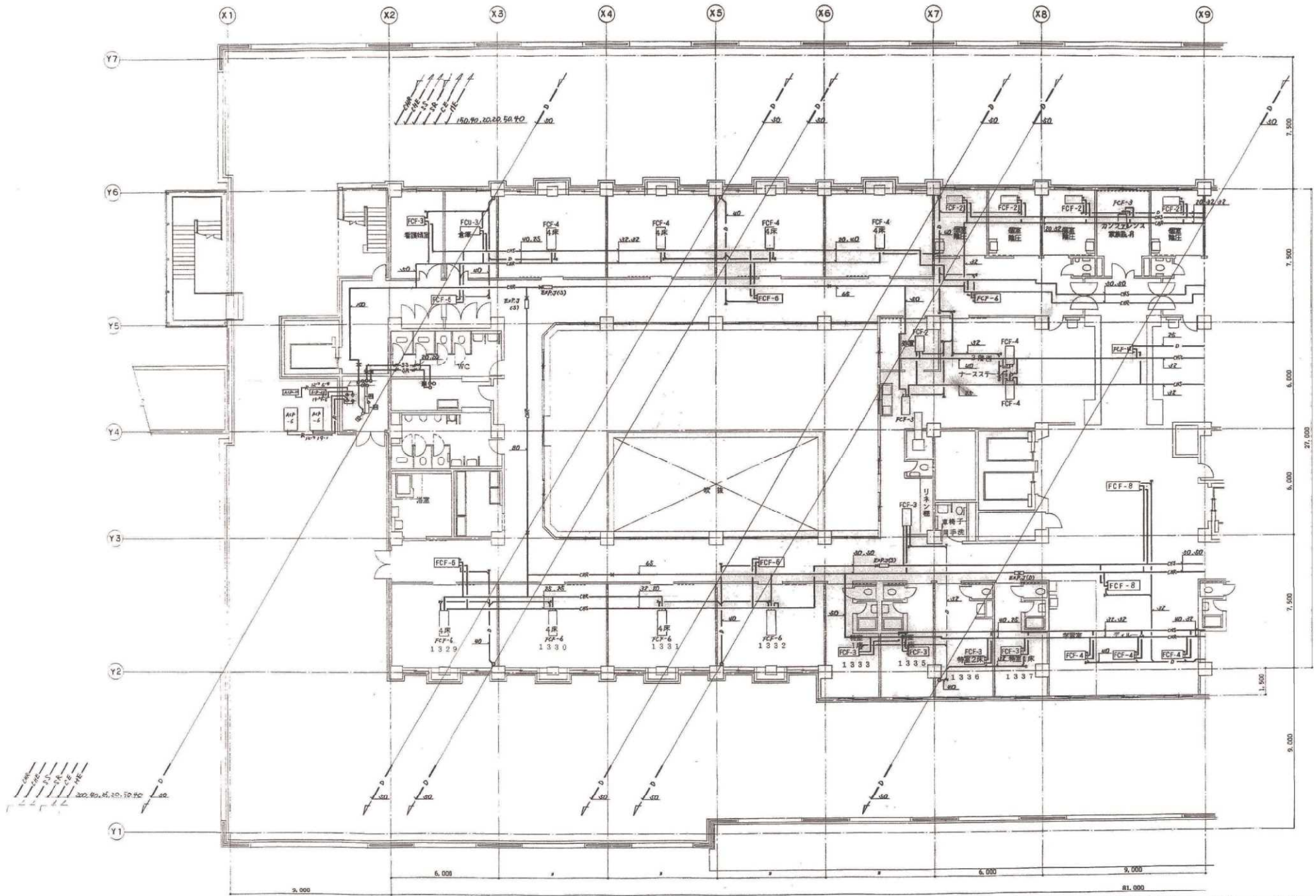
凡例

- : 天井埋込カセット型を示す
- : 天井隠蔽型を示す
- : ハッチ部は改修対象外

本館棟 5階 平面図

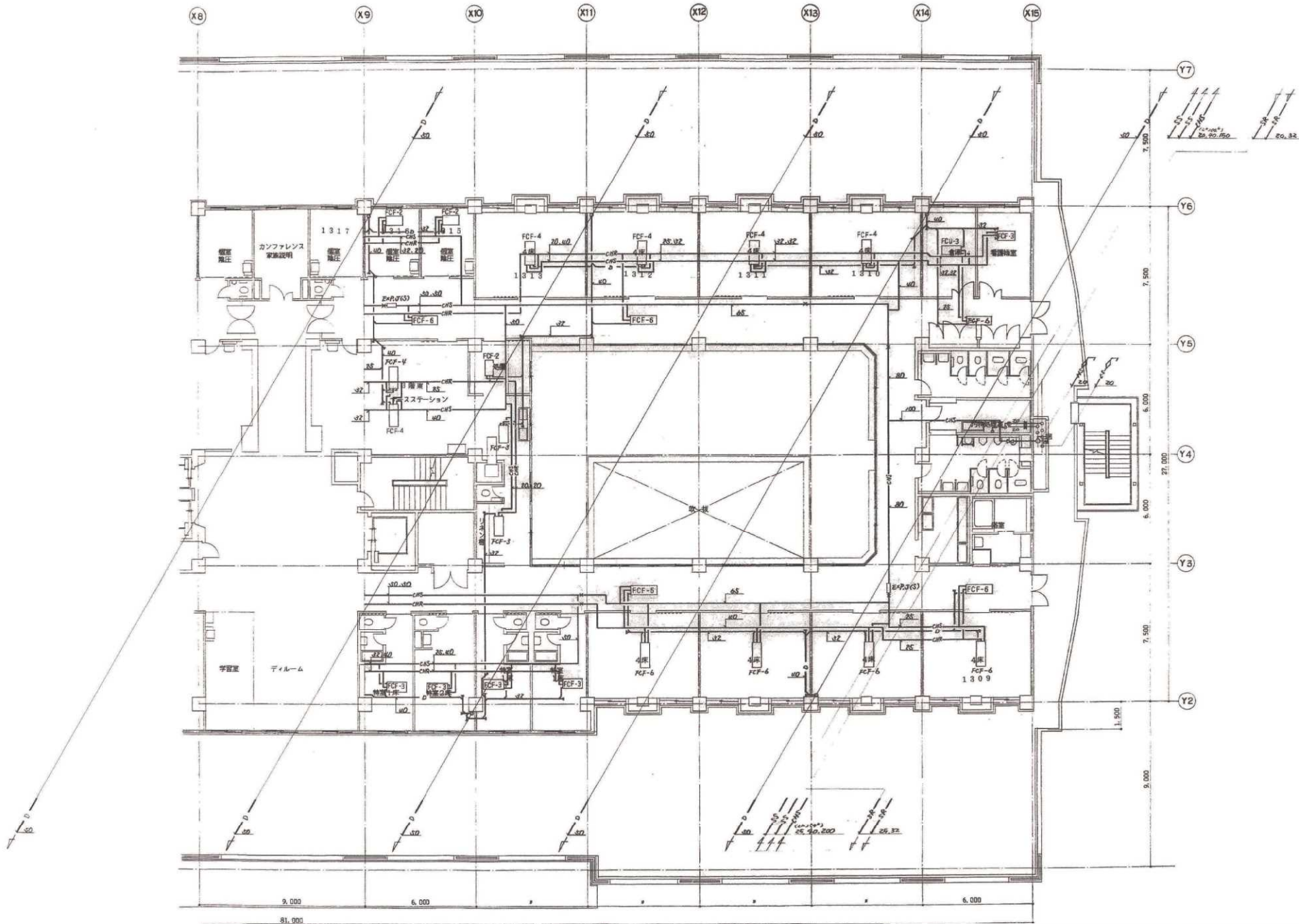
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本館	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

概要	設計年月日 R06年03月21日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第5101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 真 本社 〒360-0824 熊谷市栗木 3番地 TEL 048-521-6300 浦崎 〒370-0882 栗崎市井岡町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事 図面名 5階 空調設備図	設計図 縮尺 A 1 : 150 A 3 : 300	図面番号 M - 11
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--	--	----------------------------------	----------------



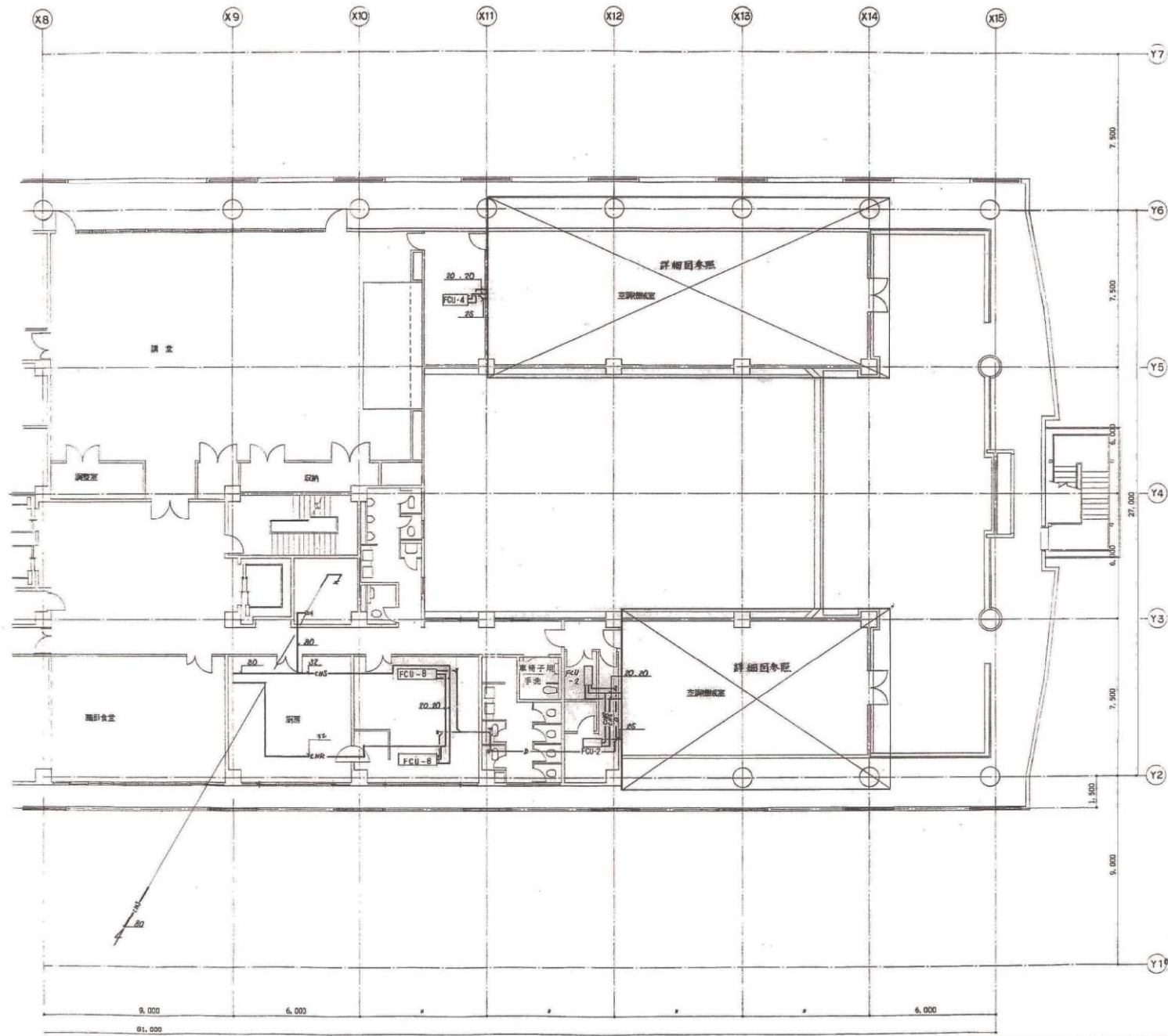
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日	変更年月日	原案 設計 製図	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第6101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 直 本社 〒360-0824 熊谷市泉町第3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0882 高崎市片岡町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 2.4循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事 図面名 3階 空調配管設備 竣工図(1)	図面番号
	R06年03月21日		栗木 栗木 佐藤 大谷			設計図 縮尺 A 1:100 A 3:200



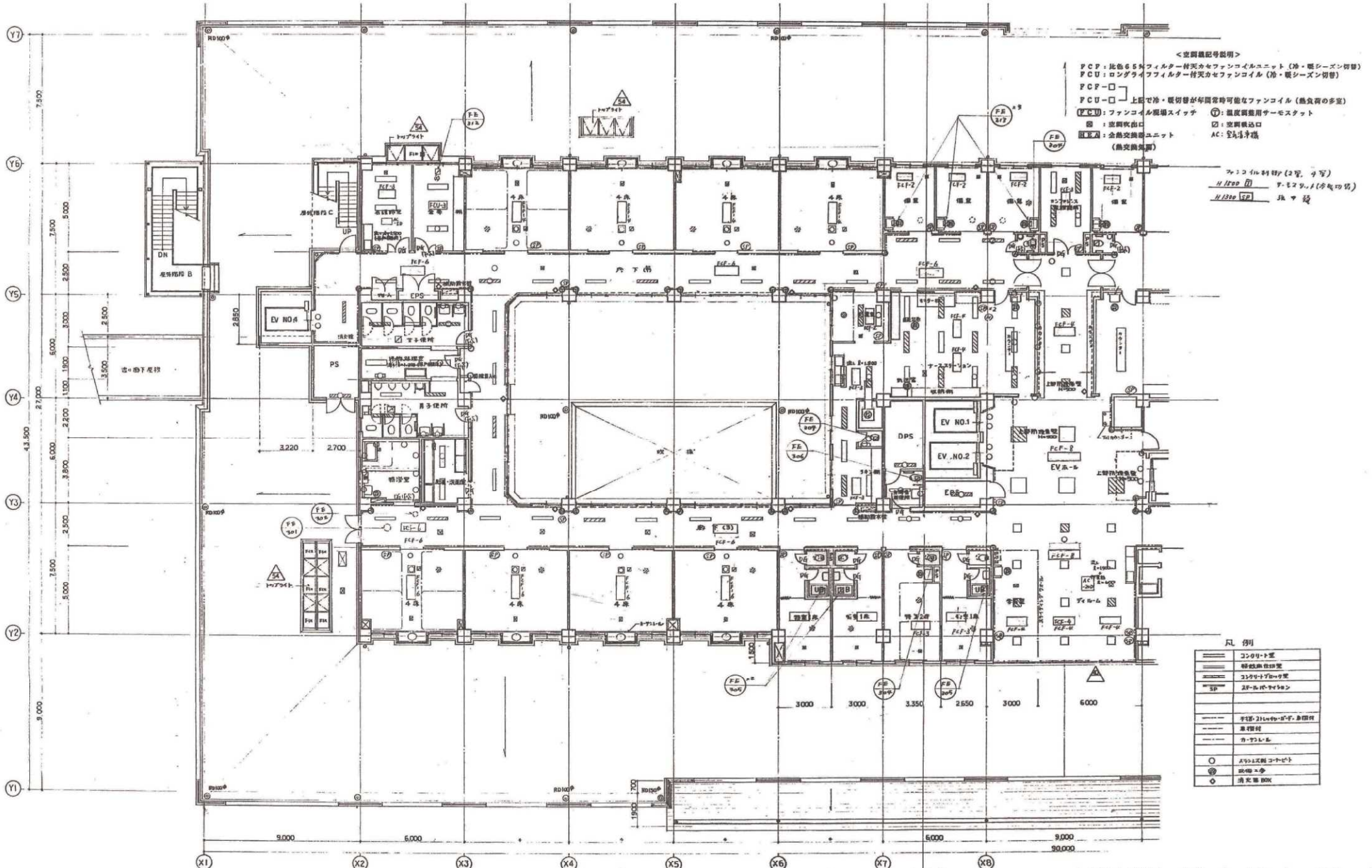
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
---------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日	変更年月日	原案 設計	製図	有限 株式会社 クラフト設備設計 建築設備士 第6101-2681M 第一級建築士 第337527号 栗木 重 本社 〒360-0824 熊谷市栗橋第3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0882 高崎市片岡町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事	図面番号	設計図
	R06年03月21日		栗木 栗木 佐藤 大谷			図面名	3階 空調配管設備 竣工図(2)	縮尺	A 1 1 : 100 A 3 1 : 200



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
---------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日	変更年月日	照査 設計 製図 栗木 栗木 佐藤 大谷	有限 会社 クラフト 設備 設計 建築設備士 第6101-2681M 号 栗木 重 本社 〒360-0824 熊谷市 栗橋 町 3 番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0882 高崎市 片岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 24 循環器・呼吸器病センター 本館棟 3・5 階空調設備改修工事 図面名 5 階 空調配管設備 竣工図 (2)	図面番号	設計図	M - 15
	R06 年 03 月 21 日					縮尺 A 1 1 : 100 A 3 1 : 200		



<空調機記号説明>

- FCP: 比色65%フィルター付天花ファンコイルユニット (冷・暖シーズン切替)
- FCU: ロンダライフィルター付天花ファンコイル (冷・暖シーズン切替)
- FCP-□: 上層で冷・暖切替が年間常時可能なファンコイル (熱負荷の多室)
- FCU-□: 上層で冷・暖切替が年間常時可能なファンコイル (熱負荷の多室)
- FCU: ファンコイル風扇スイッチ
- FCU: 温度調整用サーモスタット
- : 空調機出口
- : 空調機入口
- △: 全熱交換機ユニット (熱交換機)
- △: 全熱交換機

ファンコイル制御 (2管、4管)
 H1200 P T-5229.1 (冷暖切替)
 H1300 GP 汎用機

凡例

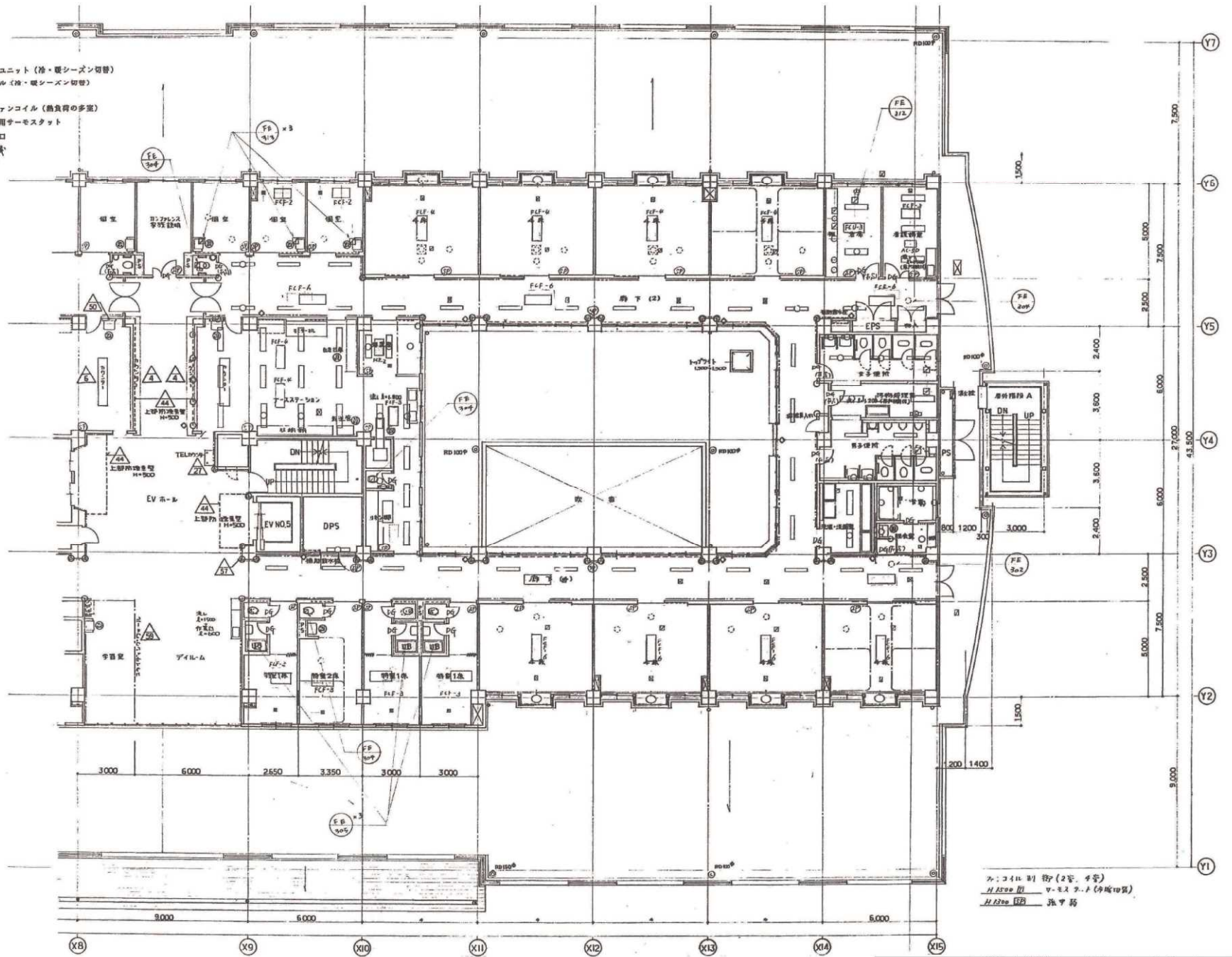
——	220Vリフト室
——	昇降機待合室
——	エレベーターホール
——	エレベーターシャフト
——	手洗・トイレ・ゴミ集積所
——	廊下
——	カーペット
○	リフト式制約コネクタ
◎	設備一式
◇	構造部 50%

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日 R06年03月21日	変更年月日	概要設計 栗木 栗木 佐藤 大谷	製図 栗木 栗木 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第6101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 重 本社 〒360-0824 熊谷市栗木第3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0882 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事 図面名 3階 天井伏 竣工図(1)	設計図 M - 16 縮尺 A1 1:100 A3 1:200
----	---------------------	-------	---------------------	-------------------	---	---	--

<空調機記号説明>

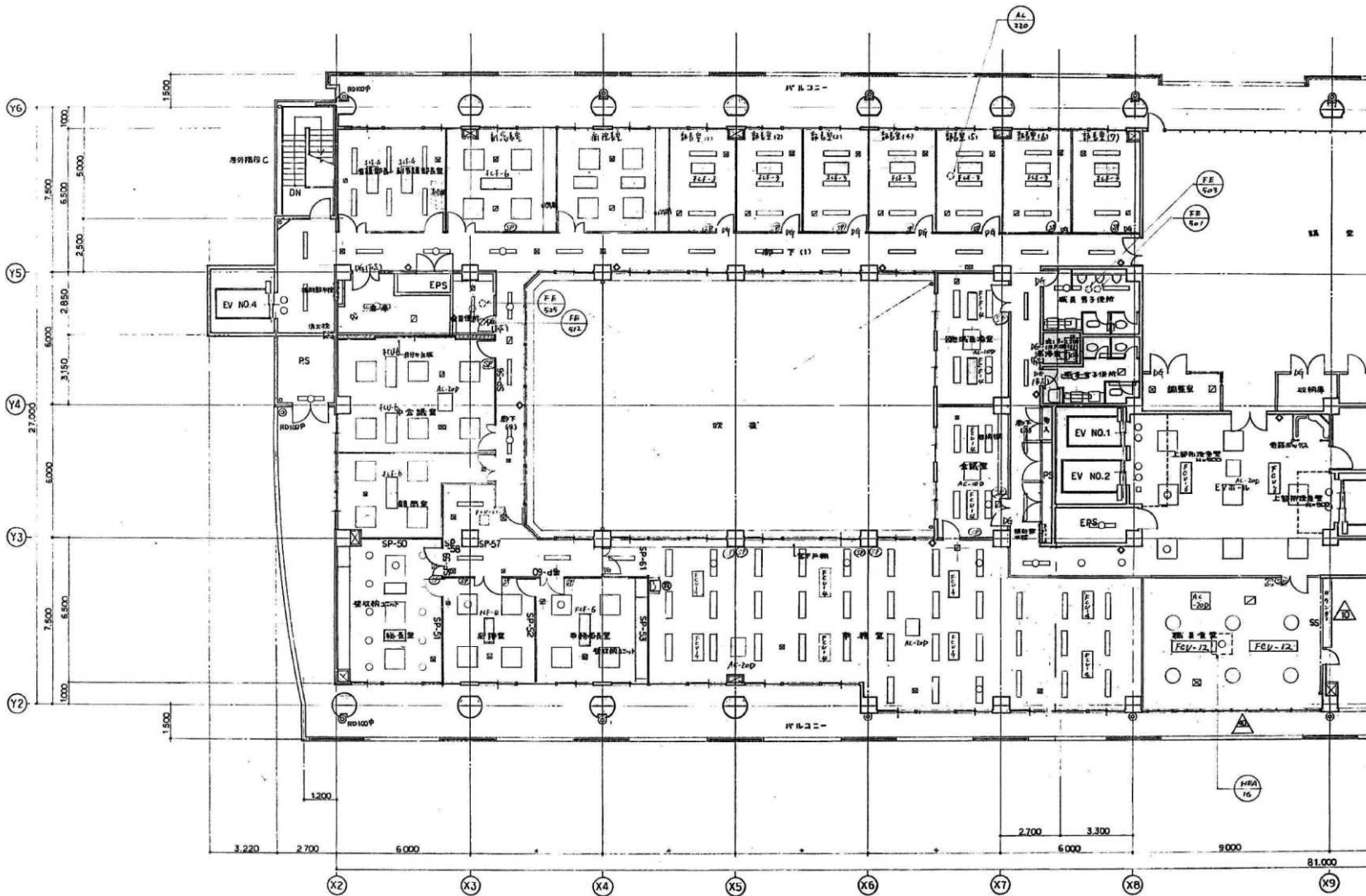
- FCF: 比色65%フィルター付天カセファンコイルユニット (冷・暖シーズン切替)
- FCU: ロングライフフィルター付天カセファンコイル (冷・暖シーズン切替)
- FCF-□: 上記で冷・暖切替が年間常時可能なファンコイル (熱負荷の多室)
- FCU-□: ファンコイル現場スイッチ
- ①: 温度調整用サーモスタット
- : 空調吹出口
- : 空調機送口
- AE: 全熱交換器ユニット (熱交換装置)
- AC: 空気清浄機



スライム制御(2室、4室)
 H1200 [E] V-エアリフト(冷暖両用)
 H1200 [E] 洗中器

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日	変更年月日	原案 設計 製図 栗木 栗木 佐藤 大谷	有限 株式会社 クラフト設備設計 建築設備士 第6101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 重 本社 〒360-0824 熊谷市栗原町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0882 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事	図面番号	設計図	M - 17
	R06年03月21日				3階 天井付 竣工図(2)	縮尺	A 1: 100 A 3: 1: 200		



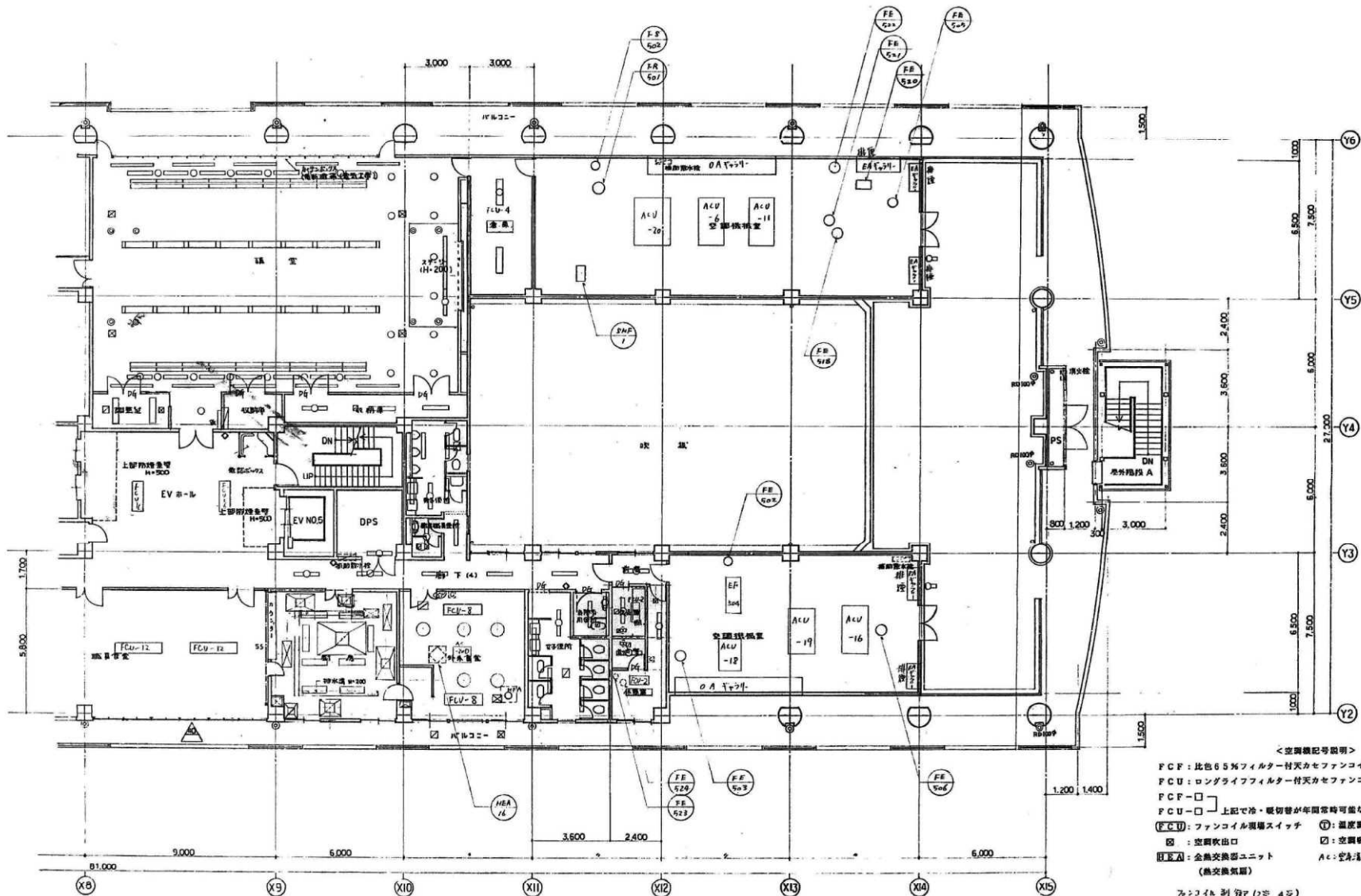
<空調機記号説明>
 FCF: 比色65%フィルタ付天井セファンコイルユニット(冷・暖シーズン切替)
 FCI: ロングライフフィルタ付天井セファンコイル(冷・暖シーズン切替)
 FCF-□: □: 上記で冷・暖切替が年間常時可能なファンコイル(熱負荷多室)
 FCU: ファンコイル現場スイッチ ①: 温度調整用サーモスタット
 □: 空調吸出口 □: 空調吸込口
 E: 全熱交換器ユニット AC: 空気清浄機
 (熱交換無し)

ファンコイル 別冊(2巻、4巻)
 H1500 □: Vモーター (冷暖両用)
 H1300 □: 流す箱

凡例

——	コンクリート壁
——	軽鉄構造柱壁
——	コンクリート柱
——	スチール柱・スチール梁
——	平鋼、スチール・I-F、鉄骨付
——	鉄骨付
——	カーテンレール
⊙	設備工事
○	消火栓 80%

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----



＜空調機記号説明＞

FCF：比色65%フィルター付天カセファンコイルユニット（冷・暖シーズン切替）
 FCU：ロングライフフィルター付天カセファンコイル（冷・暖シーズン切替）
 FCF-□：上記で冷・暖切替が年間常時可能なファンコイル（熱負荷の多室）
 (FCU)：ファンコイル現場スイッチ (T)：温度調整用サーモスタット
 □：空調機出口 □：空調機吸込口
 (E.A.)：全熱交換器ユニット A.C.：空気清浄機
 （熱交換気扇）

7/30仕様 2号 (2号, 4号)
 H1500 1/1 Y 2.1 9.1 (1号 4号)
 H1500 1/1 2号 4号

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日 R06年03月21日	変更年月日	原案 栗木 栗木 佐藤 大谷	設計 栗木 栗木 佐藤 大谷	製図 栗木 栗木 佐藤 大谷	有藤 金社	クラフト設備設計 建築設備士 第5101-2881M 号一般建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒980-0824 仙台市青葉区 3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0882 高崎市片岡町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 24循環器・呼吸器病センター 本館棟3・5階空調設備改修工事 5階 天井付 竣工図(2)	図面番号 M - 19 縮尺 A 1 1 : 100 A 3 1 : 200
----	---------------------	-------	-------------------	-------------------	-------------------	----------	--	--	---